

私の Neptune-X について

回路は [嶋田さん](#) が作られた のと同じで、TTL と X68 用ユニバーサル基板を用いたものです。

この Neptune-X の仕様は次の通り。

- 回路仕様: Neptune-X Ver 0.3
- 製造番号: No. 7
- 費用: 約 9,000 円
- 工程: 約5日間(実質6時間程度)
- 動作: 完成後一発で動いて以来, 問題無し
- 材料:

CeLan社 E2000C	[¥3,980] ... ふあすとばっくで購入		
X680x0用拡張ポート基板	[¥3,200] ... 共立電子3Fで購入		
98PIN PC/AT ISA バスコネクタ	[¥__480] ... 共立電子3Fで購入		
配線材	[¥__0] ... 残り物を使用		
カードと基板を絶縁するもの	[¥__0] ... 部品袋と輪ゴムを利用 (^^;		
TTL-IC と スイッチ類	[¥1,500] ... 共立電子, デジットで購入		
IC	ALS00	... 1	
	ALS04	... 1	
	ALS05	... 1	
	ALS08	... 1	
	ALS27	... 1	
	ALS30	... 1	
	ALS138	... 1	
	LS243	... 1	
	LS245	... 2	
	ALS245	... 2	
	抵抗	4.7kΩ 8素子集合	... 1
		4.7kΩ 1/4W	... 3
	コンデンサ	0.1uF 積層セラミック	... 12
		10uF アルミ電解	... 2

スイッチ	8回路ディップスイッチ(割込みベクタ用) ... 1
	2回路ディップスイッチ(割込みレベル用) ... 1

※ここで使用したNE2000クローンにはカニマークのQFP石として、 Ver 0.3 では動作しない可能性がある RTL-8019 が使われています。

※店のだいたいの位置を知りたい人はこの[いい加減な地図](#)を参照してください(^;.

写真はQV-10で撮っていますが、出力ケーブルを持っていないので 鮮明には撮れていません(ビデオ出力なのです)。

基板表側(全体) [\[写真\]](#)

表側(部品面)から撮った写真です。

基板表側(拡大) [\[写真\]](#)

表側のTTL配線部分を拡大した写真です。 Ver 0.3 の配置とほぼ同じです。

基板裏側(全体) [\[写真\]](#)

裏側(半田面)から撮った写真です。 E2000の裏側が光っているのは、絶縁している部品袋です。

基板裏側(拡大) [\[写真\]](#)

裏側のTTL配線部分を拡大した写真です。 バス配線は全てより線を使用したので、見た目に良くない配線になっていますが、動いているのでよしとします(^;

装着したところ [\[写真\]](#)

X68kの拡張スロットよりISA

カードの方がかなり長いので、どうしても外へはみ出てしまいます。